多治見市へ1000万円寄付

信金中央金庫に紺綬褒章



紺綬褒章の伝達を受けた鈴木武宏信金中央金庫名古屋支店長（中央）＝多治見市役所

多治見市の企業版ふるさと納税で1千万円を市に寄付したとして、信金中央金庫が国から紺綬褒章を受けた。

同金庫は創立70周年記念事業の一環で、地域創生支援スキーム「SCBふるさと応援団」を創設。東濃信用金庫（同市）の推薦を受けた市から同スキームに寄付の申請があり、2022年2月に寄付を行った。

同市役所で開かれた紺綬褒章伝達式で、鈴木武宏同金庫名古屋支店長が高木貴行市長から表彰状を受け取った。式には東濃信用金庫の加知康之理事長、とうしん地域活力研究所の竹下浩司所長も出席した。

市への寄付金は、美濃焼を通じて地域活性化を目指す民間団体「セラミックバレー協議会」の美濃焼関連書籍の制作で、市の負担金として活用された。

（稲木悠司）

無断複製・転載を禁じます